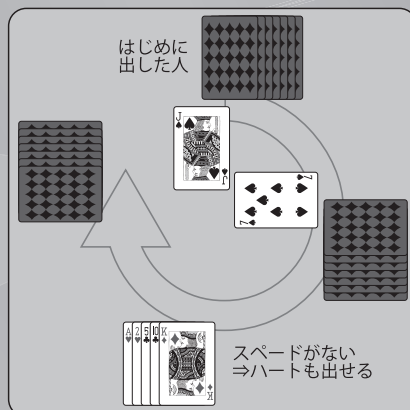
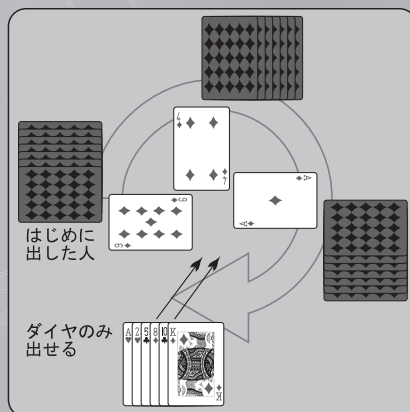


trump game

ハーツ Hearts

これが考える
カードゲームだ



カードをテンポよく出していく、とてもリズミカルで、かつ逆転の要素や戦略性もあるエキサイティングなゲーム。「各巡が始まる前に隣の人に3枚カードを渡す」などといったオプションルールもよく取り入れられており、考える要素が増えること間違いなし。ちなみに筆記用具は必須！ さあ決めろ、シュート・ザ・ムーン!!

ルール

ジョーカーを除いたトランプ一組52枚を均等に配る。このゲームの目的は以下のマイナスの点のカードを取らないことである。

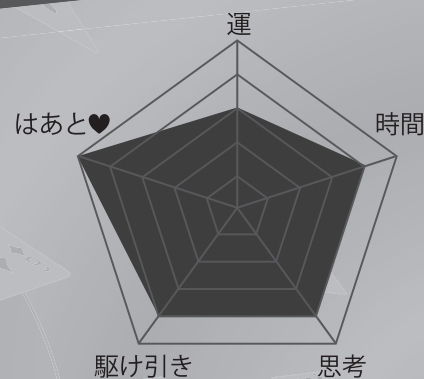
- ・ハートの札……1枚につきー1点
- ・スペードのQ……ー13点

以下の手順（1～4）を各自の手札がなくなるまで繰り返し、これを1巡とする。数巡行って最初にー100点に達した人が負けとなる。

1. はじめに特定のプレイヤーが手札から任意に1枚表向きにカードを出す。
2. 他のプレイヤーも同様に時計回りに順に1枚カードを出す。このとき、初めにカードを出したプレイヤーと同じマークのカードを出す必要がある。ただし、そのマークがない場合に限り他のマークを出してもよい。
3. 全員が1枚ずつ出し終わったら初めの人が出したマークの中で一番強いカードを出した人がすべて回収する。強さの順は、
エース > キング > クイーン > ジャック
A > K > Q > J > 10 > 9 > 8 > 7 > 6 > 5 > 4 > 3 > 2
である。
4. カードを回収した人が次に最初にカードを出す人となり、1に戻る。

「こんなのAとかKとか配られたら負けるただの運ゲーじゃん!」と思ったそのアナタ。このゲームの面白いところは次の2つのルールの存在だ!!

- ・各巡において、初めのうちはハートを出すことができない。最初にカードを出したプレイヤーと同じマークが出せない、ハート以外のカードを持っていない場合はハートを出すことができ、以後その巡の中ではどのプレイヤーも自由にハートを出すことができる。
- ・各巡において、マイナス点のカード（ハートすべてとスペードのQ）をすべて集めることができた場合、自分以外のプレイヤーにー26点がつく。このことを「シュート・ザ・ムーン」という。



ポーカー Poker

カジノでもおなじみ!

何度もプレイする時は、ある一定の点数を賭けて、出にくい役、出やすい役によって倍率を変えて点数を増やしていくゲームとして遊ぶこともできる。また、ポーカーの役の出る確率を計算するとこうなる（右図参照）。あるラスベガスのプロのポーカープレイヤーは、毎日プレイするとして、1年間で行うゲーム数は……約5万回! プロが1年やってもまれにしか出ない役もあるのです。

しかしながら、確率は確率。大勢でプレイすると、「ロイヤルストレートフラッシュ!」などと強い役が出ることもあり、スリリングで面白いゲームですよ!

役（一例）



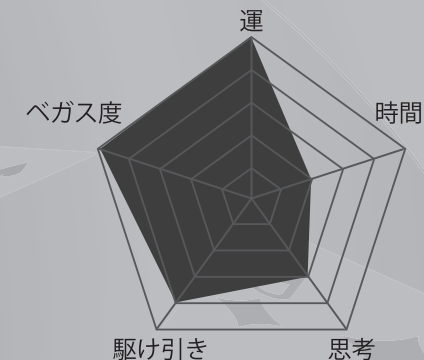
▲ロイヤルストレートフラッシュ……10・J・Q・K・Aでマークが揃っている。
確率は約1/650,000 倍率は×100



▲4カード……数字が同じカードが4枚ある。もう1枚は何でもよい。
確率は約1/4,000 倍率は×50

ルール

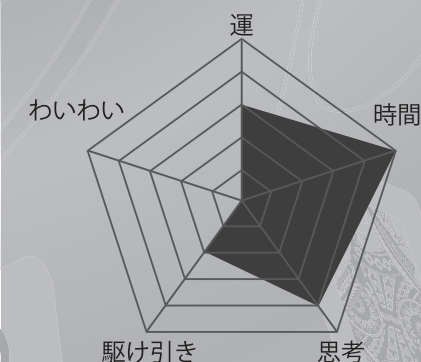
各自に5枚配り、他の人に見せないようにしておく。残りのカードを山札とし、裏返して置いておく。次に各自好きな枚数を手札から捨て、山札から同じ枚数取る。最後に手札を公開し、強い役だった人の勝利となる。



※ジョーカーをワイルドカード、つまりどんなカードとみなしてもよい特別なカードとして扱うルールもある。なお、倍率は一例で、確率はジョーカーを除いたトランプ一組52枚を用いた時のものである。

ソリティア Solitaire

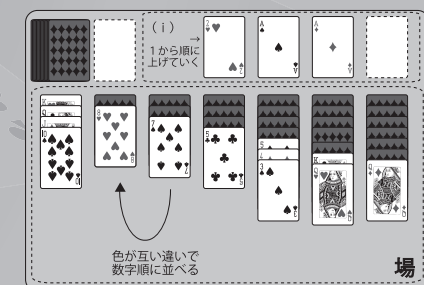
クロンダイク (Klondike)



一人でも楽しい!

ソリティアにはさまざまな種類のものがあるが、トランプで遊ぶこのソリティアをクロンダイクという。パソコンなどにインストールされていることも多く、暇つぶしで何度もプレイしたことがある人も多いはずだ。

これを本物のカードでプレイするとどうなるか。時間をかけ丁寧に並べ、慎重にカードを移動する。この苦労を味わい、そしてクリアできたときの感動は、筆舌しがたいものがある。実際に筆者もプレイしてみたところクリアにかかった時間は……42分! しかしながら、そのときに味わった感動は計り知れない。



ルール

ジョーカーを除いたトランプ一組52枚をn列目にn枚裏向きに7列分だけ並べ、各列1番上にあるカードを表向きにする。最後にそれぞれのマークを特定の位置（i）にA～Kまで順に並べるとクリアである。

場では数字が連続していて、かつ色が互い違いになっていれば、数字が大きいものの上に小さいものを重ねていくことができる。